

《 資料 1 》

【判定記号の変更について】

以下の通りに、判定記号と指示内容が変わります。

従来		日本人間ドック学会	
医師の指示	判定記号	医師の指示	判定記号
異常認めず	A	異常認めず	A
著変認めず	B	軽度異常	B
要経過観察	C	要経過観察	C
再検査	D	-	-
要精密検査	E	要精密検査	D 2
要受診・治療	F	要治療	D 1
要継続治療	G	治療中	E

変更に伴い、基準値・判定がこれまでのものと異なるため、個人報告書の前回判定は、アスタリスク(\*)で表記させていただきます。

[注] D1, D2 判定不能のときは、D とします。また、医師の指示は「要受診」となります。

【その他変更点】

血糖：随時血糖での独自判定は廃止し、食後でも空腹時血糖として判定します。但し、食後で HbA1c を実施している場合は、優先して判定されます。

《 資料 2 》

【乳房マンモグラフィ検査 結果表記の変更について】

以下の通りに、所見名称がカテゴリー表記に変わります。

変更前 所見名称		変更後 所見名称	
所見名称	判定	所見名称	判定
所見なし	A:異常認めず	カテゴリー 1 (異常なし)	A:異常認めず
所見あり	B:著変認めず ~ F:要受診	カテゴリー 2 (良性所見)	B:軽度異常
		カテゴリー 3 (異常あり)	D:要受診
		カテゴリー 4 (異常あり)	D:要受診
		カテゴリー 5 (異常あり)	D:要受診

【子宮頸部検査 結果表記の変更について】

日母分類[クラス分類]とベセスダシステムの所見名称を併記します。(現行は日母分類[クラス分類]の所見・判定表記のみ)

また、判定は、ベセスダシステムの判定を表記します。

変更前		変更後(併記)			
日母分類(クラス分類)		日母分類	ベセスダシステム(日本産婦人科医会 資料)		
所見名称	判定	所見名称	所見名称	判定	備考
細胞診クラス I (異常なし)	A:異常認めず	細胞診クラス I	NILM(陰性)	A:異常認めず	I, II
細胞診クラス II (著変なし)	B:著変認めず	細胞診クラス II	ASC-US(異型扁平上皮細胞)	D2:精密検査	II - IIIa
細胞診クラス III a	F:要受診	細胞診クラス III a	ASC-H(異型扁平上皮細胞)	D2:精密検査	III a - III b
細胞診クラス III	F:要受診	細胞診クラス III	LSIL(軽度異形成)	D2:精密検査	III a
細胞診クラス III b	F:要受診	細胞診クラス III b	HSIL(高度異形成)	D2:精密検査	III a, III b, IV
細胞診クラス IV	F:要受診	細胞診クラス IV	SCC(扁平上皮癌)	D2:精密検査	V
細胞診クラス V	F:要受診	細胞診クラス V	AGC(腺異型)	D2:精密検査	III
			AIS(上皮内腺癌)	D2:精密検査	IV
			Adenocarcinoma(腺癌)	D2:精密検査	V
			Other(その他の悪性細胞)	D2:精密検査	V